

# 様式①-1

平成27年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(1)

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		道路改築事業	主要地方道御浜紀和線
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	170080	道路建設課	道路建設班
			電話番号
			059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名
	90	熊野 郡部 過疎	御浜町 柿原
④事務事業名	道路改築事業		
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

## 2 事業計画の概要

事業計画の概要				
延長	500m		事業着工	2015年度
幅員	5.5(7.0)		事業完了	2021年度
道路工	500m		供用開始	2022年度
			B/C評価期間	50年
			全体計画事業費(億円)	2.500
			全体計画工期(年数)	7年
事業の目的				
当該箇所は、紀南病院のある海岸部の御浜町中心部と、山間部の熊野市紀和町の地域間を結ぶ重要な生活道路である。しかしながら、幅員が狭く線形不良であることから車両の通行に支障をきたしている。当該路線は定期バス路線であり、かつ緊急車両の通行も多いことから、早期に安全かつ円滑な交通を確保する。				

## 3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益 土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	3.41
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	0.01
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	0.01
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益	
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益①(現在価値合計)：B'(億円)				3.43
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP×受益世帯数	
		景観	WTP×受益世帯数	
		文化	WTP×受益世帯数	
		快適性	WTP×受益世帯数	
		安全・安心	WTP×受益世帯数	
粗便益②(現在価値合計)：E(億円)				0.00
粗便益③(現在価値合計)：<B'+E>(億円)				3.43
地域	熊野	に対応した地域係数		1.5
便益(現在価値合計)：B(億円) ((B'+E)×地域係数)				5.15
費用(現在価値合計)：C(億円) (費用計算テーブルより)				2.13
費用便益比：B/C				2.41

### ※費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

# 様式①-2

平成27年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(2)

## 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		道路改築事業	主要地方道御浜紀和線	
②事業担当室	室CODE	担当室	担当グループ	電話番号
	170080	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名
	90	熊野	郡部 過疎	御浜町 柿原

## 2 政策的重要度評価(個別評価)

### (a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	
2	
3	他事業と一体的に整備する必要がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

当該事業区間の終点付近では町道柿原線道路改良事業が計画されており、一体的な整備により道路ネットワークの形成を図り、県道・市道双方の整備効果を発現させるものである。

### (b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

I	
II	
III	
IV	
V	
VI	
VII	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

### (c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

御浜町からの強い要望があり、地元の協力が期待できる。

## 【評価結果(優先度判定の結果)】

III
-----